2023年2月14日

株式会社ファイバーゲート

2023年6月期第2四半期決算説明資料

Fibergate Inc.
株式会社ファイバーゲート

上場市場　：東証プライム　札証
証券コード：9450

©Fibergate Inc. all rights reserved.

目次

Fibergate Inc.
株式会社ファイバーゲート

- 2023年6月期2Q決算実績
- 2023年6月期通期決算見通し
- トピックス
- Appendix

©Fibergate Inc. all rights reserved.

ポイント

1 2023/6期2Q累計実績：14%増収36%経常増益

- ✓ 2Q会計期間としては過去最高収益を更新し、経常利益率も19%超に。FCFも2半期連続で黒字化
- ✓ ホームユース事業の成長は既築中心に期待以上。ビジネスユース事業は仕込み期間長く、加速感抱くにはまだ至らず

2 2023/6期見通し：21%増収22%経常増益

- ✓ 従来見通しを据置き。成長再加速に向けて、より攻めの姿勢を強める方針。営業利益20億円超の水準実現へ注力
- ✓ ストックビジネスの積上げを考えれば達成は十分射程圏と認識。前期にはやや成長鈍化の兆しを懸念したものの、再加速の実現には手応え

3 トピックス

©Fibergate Inc. all rights reserved.

Fibergate Inc.
株式会社ファイバーゲート

2023年6月期2Q決算実績

©Fibergate Inc. all rights reserved.

2023/6期2Q連結決算概要

Fibergate Inc.
株式会社ファイバーゲート

- 2023/6期2Qは累計ベースで前年比14%増収、36%経常増益。経常利益率も19%に肉薄し、改善進む。順調な滑り出しとなった1Qからの流れを引き継ぎ、好調に推移
- 主力のホームユース事業はまだ既築案件が中心ながら、堅調に推移。リードタイムの長い新築案件の寄与は3Qから本格化の見通し。ビジネスユース事業も伸長。ただし、仕込みフェーズ長く、加速感を抱くにはまだ至らず

(百万円) 百万円未満切り捨て 0.1%未満四捨五入	2022/6期 2Q実績	2023/6期 2Q			2023/6期通期	
		実績	前年差異	前年比	見通し	進捗率
売上高	4,582	**5,203**	+621	+13.6%	12,900	40.3%
ホームユース	3,907	**4,501**	+593	+15.2%	9,320	48.3%
ビジネスユース	594	**680**	+86	+14.5%	1,830	37.2%
不動産他	80	**22**	▲58	▲72.6%	1,750	1.3%
営業利益	734	**991**	+257	+35.1%	2,020	49.1%
ホームユース	1,063	**1,389**	+326	+30.7%	2,530	54.9%
ビジネスユース	129	**116**	▲13	▲10.2%	570	20.5%
不動産他	4	**▲4**	▲8	–	80	▲5.7%
調整	▲463	**▲509**	▲46	–	▲1,160	43.9%
経常利益	719	**981**	+262	+36.5%	1,960	50.1%
経常利益率	15.7%	**18.9%**	+3.2pp	–	15.2%	-
当期純利益	481	**675**	+194	+40.4%	1,300	52.0%

©Fibergate Inc. all rights reserved.

連結決算概要　四半期別推移

Fibergate Inc.
株式会社ファイバーゲート

- 2Q四半期では売上・利益とも過去最高を更新。対前年2Qとの比較でも2ケタを超える増収増益。ホームユース事業が好調を牽引。一方、ビジネスユースの売上は注力の成果発現に時間を要し、横ばい水準で推移
- 対1Q比較では若干の増収増益。例年2Qは1Q比で調整する傾向にあったが、前期より堅調な展開に変化。ストックビジネスの積上げ進展により、業績における季節要因は徐々に緩和の傾向

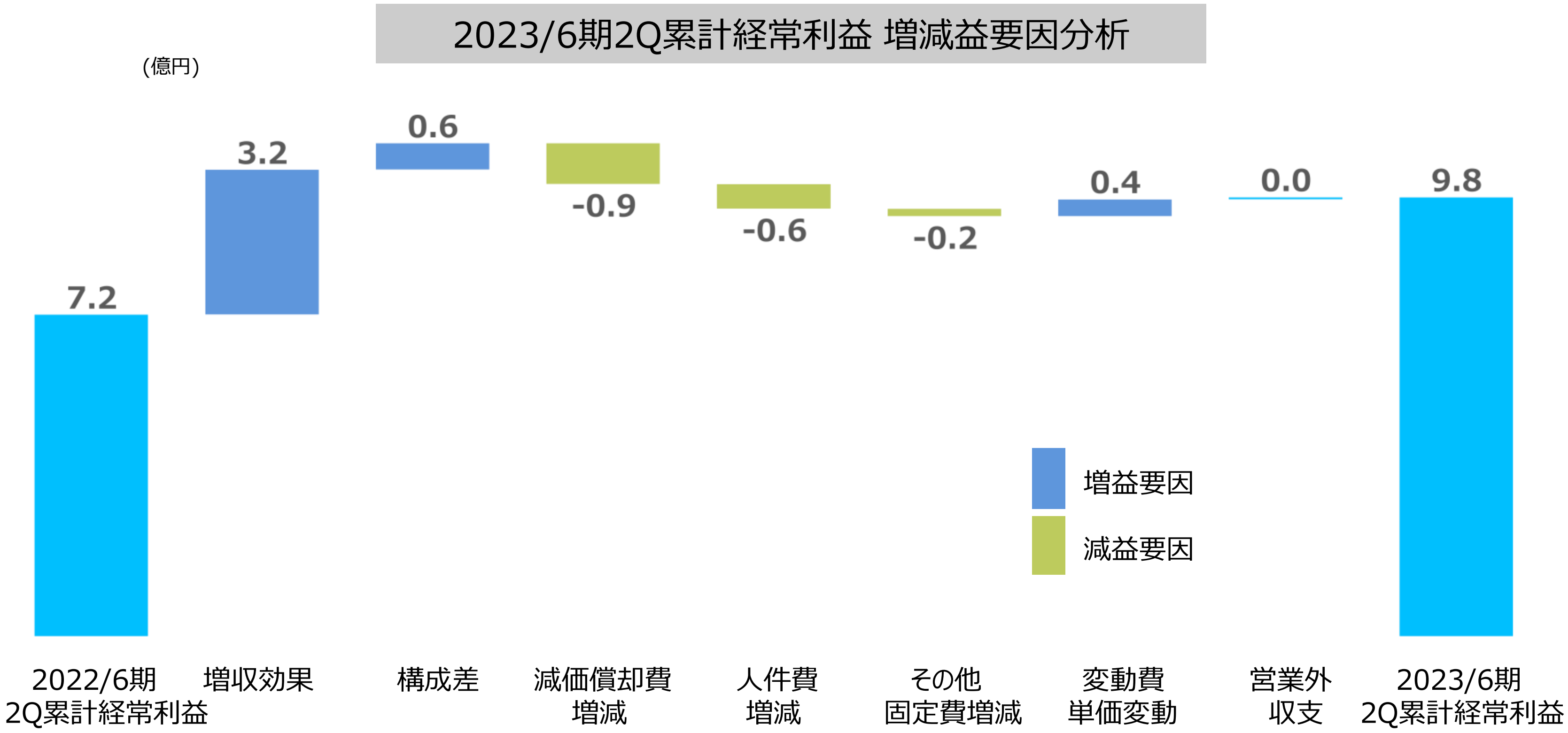
(百万円)	2022/6期				2023/6期		1Q/2Q比較	前2Q/2Q比較
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q		
売上高	2,258	2,323	2,618	3,423	2,591	**2,612**	**+21**	**+288**
ホームユース	1,930	1,977	2,132	2,101	2,256	**2,245**	**▲11**	**+268**
ビジネスユース	257	336	342	308	329	**350**	**+21**	**+14**
不動産他	70	10	144	1,013	5	**16**	**+11**	**+6**
営業利益	288	445	515	403	480	**511**	**+30**	**+65**
ホームユース	451	611	656	598	671	**717**	**+45**	**+105**
ビジネスユース	53	76	58	46	46	**70**	**+23**	**▲6**
不動産他	0	3	19	28	▲8	**4**	**+12**	**+0**
調整	▲216	▲246	▲219	▲270	▲229	**▲280**	**▲51**	**▲34**
経常利益	279	439	509	375	480	**500**	**+20**	**+61**
経常利益率	12.4%	18.9%	19.5%	11.0%	18.5%	**19.2%**	**+0.6pp**	**+0.3pp**
当期純利益	182	299	345	246	337	**338**	**+1**	**+39**

*百万円未満切り捨て、0.1%未満四捨五入

©Fibergate Inc. all rights reserved.

経常増減益要因分析

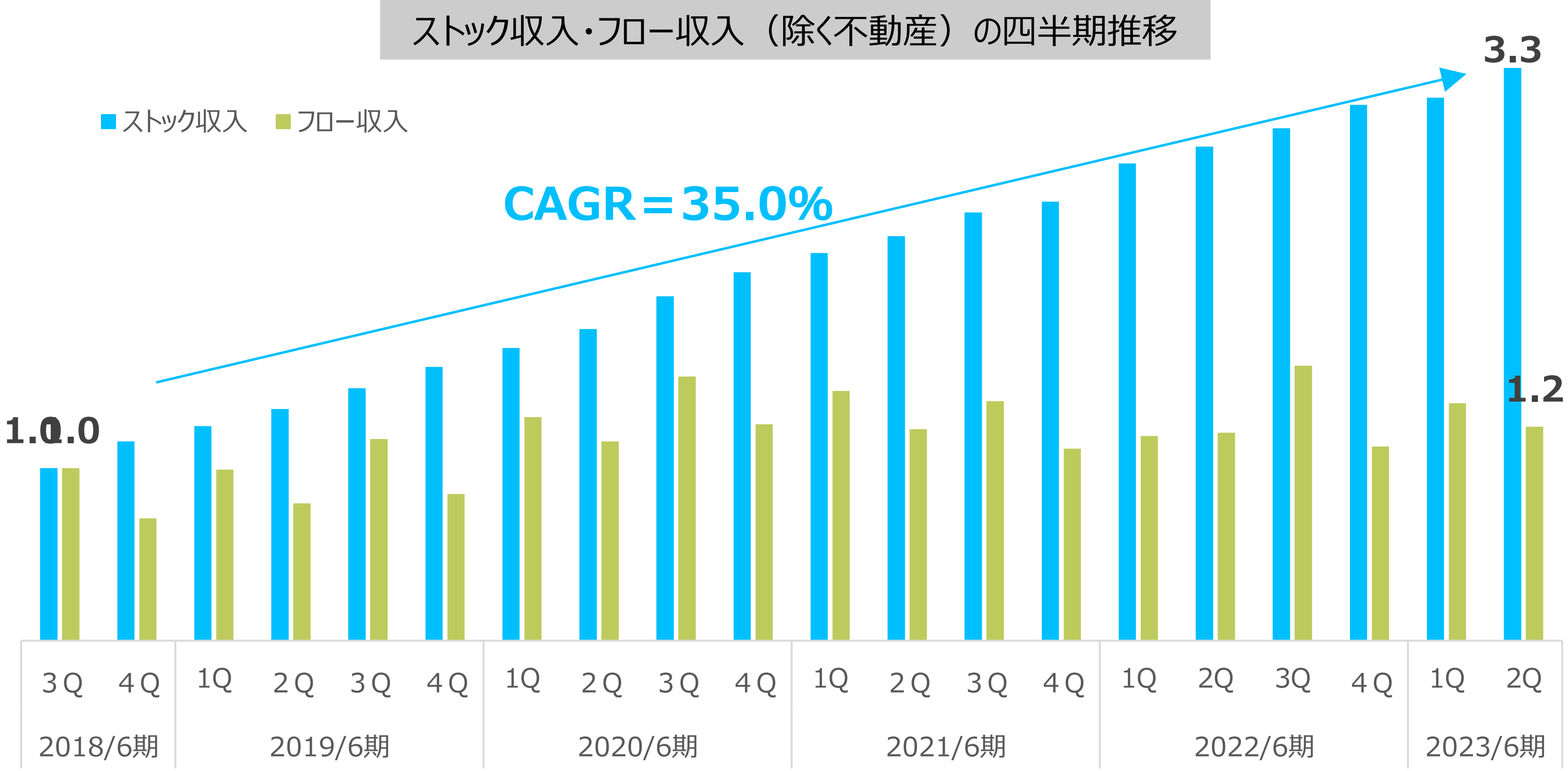
- 前年比経常増益の主因は売上増に伴う増収効果。構成差改善もあり、人件費や減価償却費用増を吸収
- 回線の有効活用などによる変動費単価の引下げも引続き収益の下支え要因として貢献。回線使用料自体は膨らんでいるものの、効率的な運用で単位当たりのコスト抑制を実現



©Fibergate Inc. all rights reserved.

ストック収入・フロー収入の推移

- ストック収入の拡大は上場来19四半期連続。直近は新築案件へのシフトから成長ピッチの一旦鈍化を想定も、既築案件ニーズの取込み堅調により、過去5年の年成長率は35%と急ピッチをキープ。
- 一方、フロー収入は2018/6期3Q比1.2倍。増減の幅はあるものの、概して安定的に推移



注）2018/6期3Q＝1　として指数化。小数点以下の差により、同じ数値表記にもかかわらず、見かけ上グラフの高さに違いが生じることがある
この収入内訳は当社定義に基づく連続性のある比較数字であり、収益認識基準下における期間按分売上などとは厳密には異なる

©Fibergate Inc. all rights reserved.

主要指標の推移

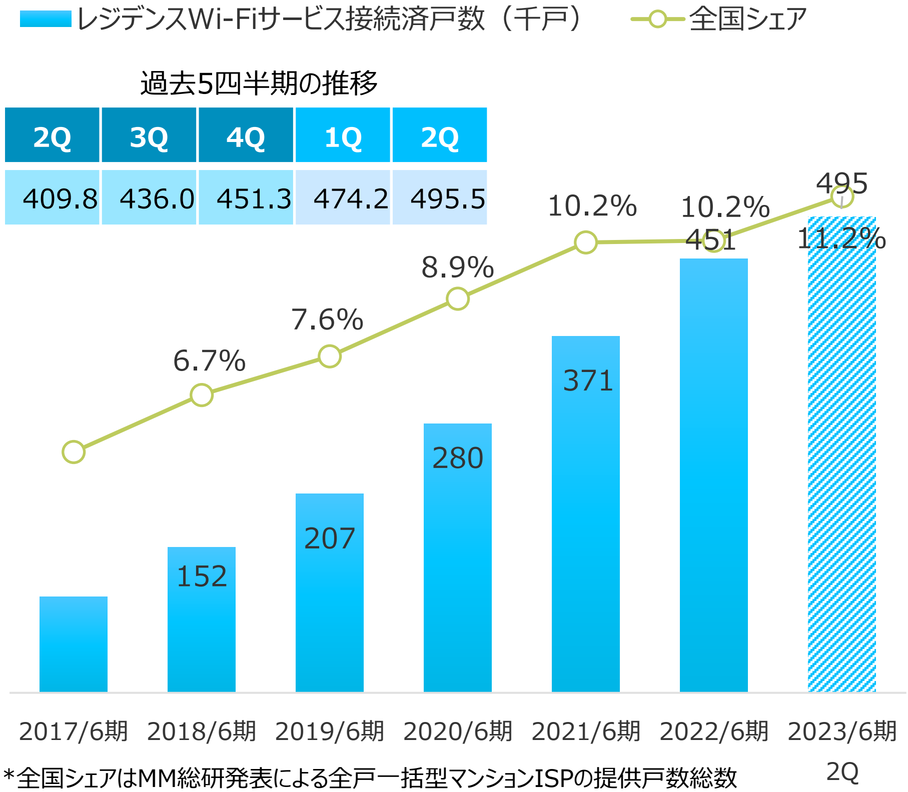
Fibergate Inc.
株式会社ファイバーゲート

- レジデンスWi-Fiサービス接続済戸数は約50万戸。2004年のサービス開始以来、18年で50万戸まで拡大。新改築物件へのシフト進めるも、まだ成長は既築物件が中心。当初懸念していた以上に既築物件は健闘
- 当期から戦略領域と位置づけたビジネスユースでは設定KPIを変更。従来KPIはターゲット3領域への新規設置数としたが、その方針を拡大し、ストック売上の先行指標となるフロービジネスの売上加速を注視

レジデンスWi-Fiサービス接続済戸数と全国シェア*の推移

過去5四半期の推移

2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
409.8	436.0	451.3	474.2	495.5



*全国シェアはMM総研発表による全戸一括型マンションISPの提供戸数総数（各3月末現在）を当社会計年度末（もしくは直近四半期末）の契約戸数実績で除して算出

フロー/ストック別ビジネスユース売上高推移

©Fibergate Inc. all rights reserved.

“すべての施設にWi-Fiを“

Fibergate Inc.
株式会社ファイバーゲート

ビジネスユース事業のターゲット領域：一定以上の滞在時間がある地域・施設

フロー売上

ストック売上の先行指標として新たなKPIに設定

フリーWi-Fi

短期契約

イベント、工事現場、
展示会、会議

営業リードタイム **短期**

長期契約（初期収入）

期初設定のKPI
観光、医療/介護、公共

商業施設、オフィス

営業リードタイム **長期**

法人ネットワーク

長期契約（初期収入）

中小企業

営業リードタイム **長期**

ストック売上

フリーWi-Fi

継続収入

法人ネットワーク

継続収入
＋
サイバー攻撃対策

©Fibergate Inc. all rights reserved.

連結決算概要(貸借対照表)

Fibergate Inc.
株式会社ファイバーゲート

- 自己資本比率28.7%。収益認識基準適用で一旦低下も、30%レベル回復が目前に
- 事業拡大にキャッシュアウトが先行し、資産増に直結するビジネスモデルに変化はなし。ただし、FCF黒字化達成により、借入金圧縮にも着手。徐々に資産のスリム化を推進

(百万円)	2021/6期	2022/6期	2023/6期 2Q	2022/6期 比増減
流動資産	3,920	6,028	**6,294**	+266
現預金	2,196	2,303	**1,930**	▲373
売掛金	1,234	1,375	**1,460**	+85
棚卸資産（通信）	311	654	**991**	+336
棚卸資産（不動産）	55	1,426	**1,615**	+188
固定資産	5,475	7,057	**7,196**	+138
有形固定資産	5,246	6,204	**6,414**	+210
総資産	9,397	13,087	**13,491**	+404
負債	5,720	9,808	**9,573**	▲234
有利子負債	4,453	6,653	**6,230**	▲422
契約負債	-	1,958	**1,790**	▲168
純資産	3,677	3,279	**3,918**	+639
負債純資産合計	9,397	13,087	**13,491**	+404

不動産在庫増もあり、通常通りキャッシュアウト先行

需要堅調に対応

1Qに不動産売買なし

借入金抑制で対応

自己資本比率28.7%
新基準適用で低下後、
着実に改善

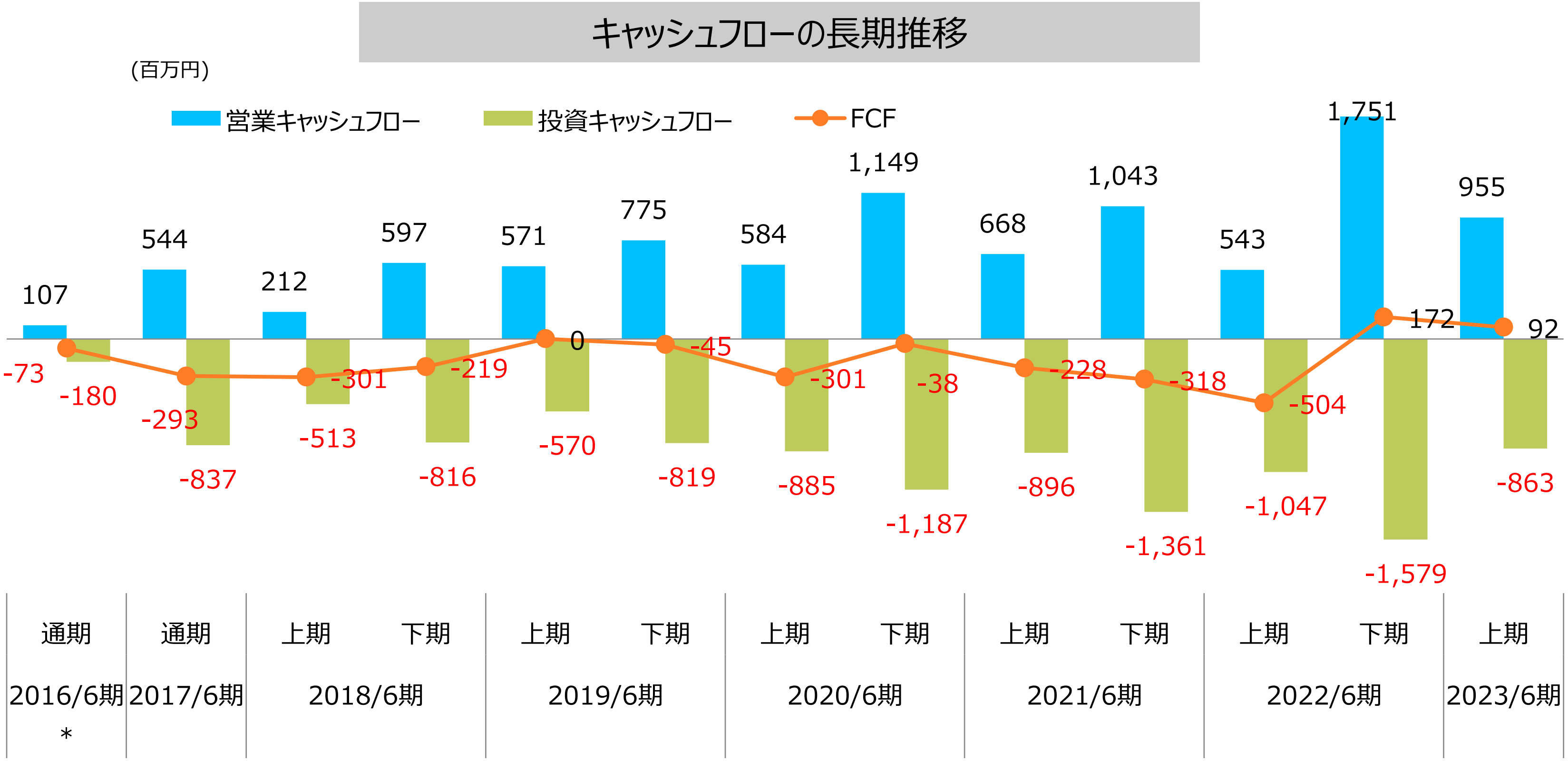
*百万円未満切り捨て、0.1%未満四捨五入

©Fibergate Inc. all rights reserved.

キャッシュフローの推移

Fibergate Inc.
株式会社ファイバーゲート

- 2023/6期2Q累計のFCFは0.9億円の黒字を確保。2半期連続の黒字確保は過去初。
- 事業拡大に伴う先行キャッシュアウトは継続。投資キャッシュフローは高水準であることに変化なし。ただし、着実に営業キャッシュフローが拡大するなど稼ぐ力も成長。徐々にキャッシュ負担の重さは低減



*2016/6期は６ヵ月決算

©Fibergate Inc. all rights reserved.

ホームユース：導入戸数50万戸突破

2023年1月末に全国で全戸一括入居者無料Wi-Fiサービス導入戸数50万戸を達成

<全戸一括入居者無料Wi-Fiサービス>

マンション・アパート等の賃貸物件オーナー向けに全戸一括で入居者が「インターネット無料使い放題」となるインターネット接続サービスの提供

<PBおよびパートナー企業>

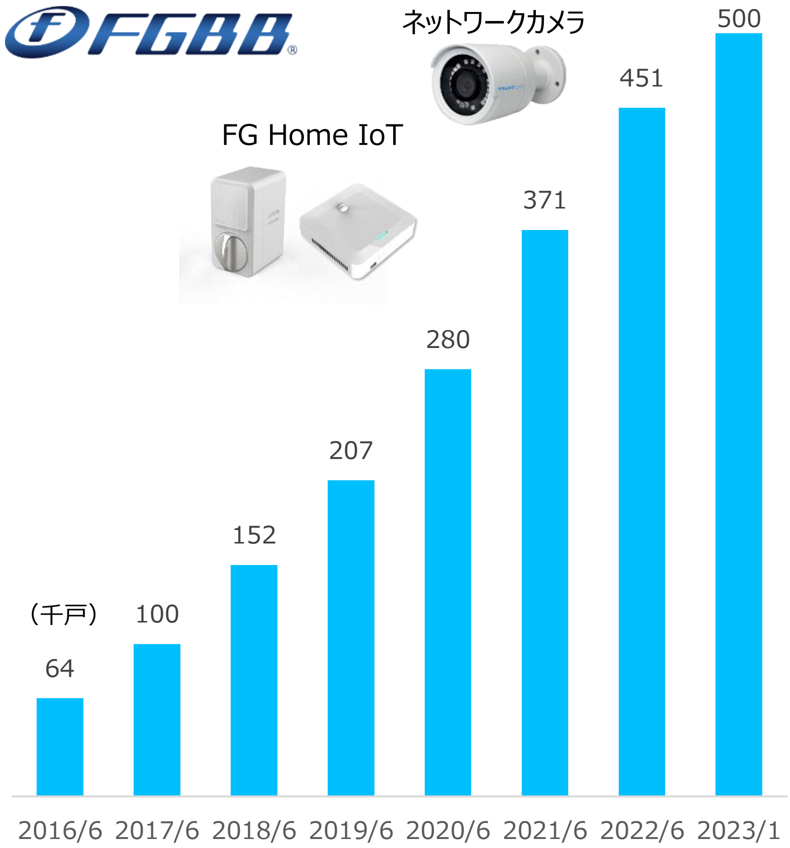
パートナー企業は2023年1月時点で**250**社以上
PB企業およびFGBB販売パートナーと全国で協力展開

<その他オプション商材>

FG Home IoT
- ✓ 管理用WEBシステムや入居者様用スマホアプリからスマートロックを解錠/施錠
- ✓ 当社開発の FG Smart Sensor搭載センサー（温湿度、照度、騒音、eCO2、人感）と赤外線リモコン機能でスマートライフをサポート
- ✓ Home IoTのワンストップソリューション

ネットワークカメラ
- ✓ 防犯対策として人気上昇中のネットワークカメラ
- ✓ 屋内、屋外様々な場所に対応したカメラを用意

全戸一括入居者無料Wi-Fiサービス導入戸数の推移



※画像は一例

©Fibergate Inc. all rights reserved.

ビジネスユース：導入アクセスポイント数10万AP突破

Fibergate Inc.
株式会社ファイバーゲート

フリーWi-Fi設置数（アクセスポイント設置数）が10万アクセスポイント※を突破

※当社の認証システムを利用しているアクセスポイント数

Wi-Fi Nex　Wi-Fi BUS　eventWi-Fi　Cosmic Wi-Fi　SHINOBI FREE Wi-Fi　Medical-Wi-Fi　OneTouch Wi-Fi

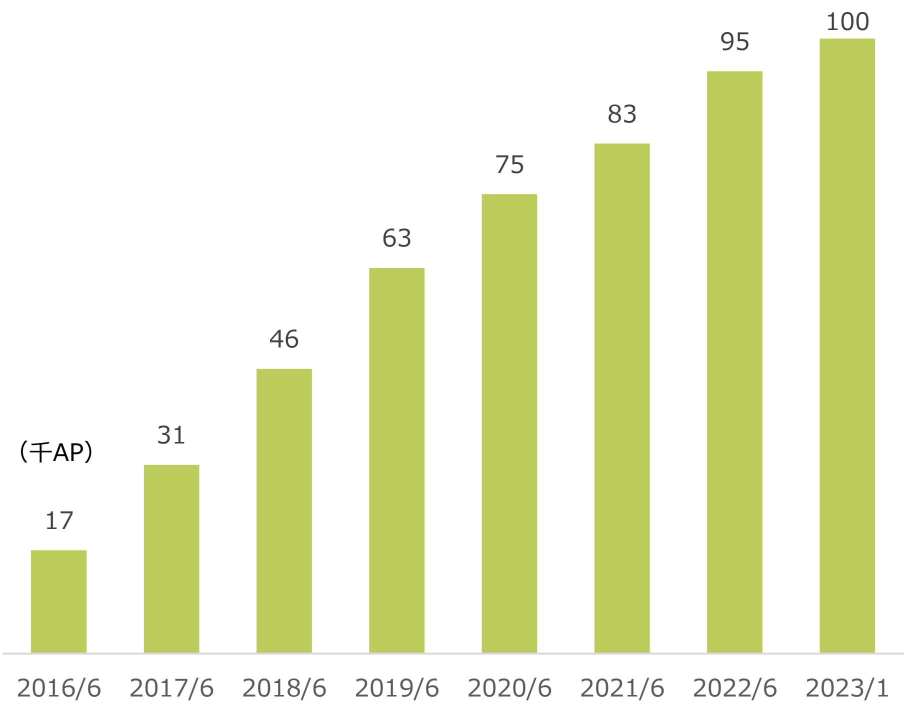
ファイバーゲートのフリーWi-Fiの特徴

- 通信事業会社でありながら機器製造から販売、アフターサポートまで一貫対応
- 電気通信登録事業者の資格を有し、公共の場でのフリーWi-Fi構築が可能
- 総務省推奨仕様準拠のユーザー認証機能完備
- 認証画面デザインの柔軟なカスタマイズ化に加え、カスタマイズされた認証画面上でPRなどの情報発信に取り組むことが可能

<主な導入先/ロケーション>

■宿泊施設・ホテル向けWi-Fi　■介護施設向けWi-Fi
■旅客運送業（バス・タクシー等）向けWi-Fi
■自治体/行政機関向けWi-Fi
■イベントWi-Fi　■公共施設の広域Wi-Fi

期末フリーWi-Fi設置数の推移



©Fibergate Inc. all rights reserved.

Fibergate Inc.
株式会社ファイバーゲート

2023年6月期通期決算見通し

©Fibergate Inc. all rights reserved.

2023/6期連結決算見通し① 総括表

Fibergate Inc.
株式会社ファイバーゲート

- 2023/6期は21%増収22%経常増益の見通しを据置き。ストックビジネスの積上げを考えれば達成は十分射程圏と認識。前期にはやや成長鈍化の兆しを懸念したものの、再加速の実現には手応え
- セグメント別には中期戦略に基づいてビジネスユースの成長を想定。ホームユースの安定成長がこれを下支える

(百万円。百万円未満切り捨て)	2021/6期	2022/6期	2023/6期見通し	前年比 増減額	前年比 増減率
売上高	8,491	10,624	**12,900**	+2,275	+21.4%
ホームユース	7,067	8,141	**9,320**	+1,178	+14.4%
ビジネスユース	1,353	1,244	**1,830**	+585	+47.0%
不動産	70	1,238	**1,740**	+501	+40.4%
営業利益	1,559	1,652	**2,020**	+367	+22.2%
ホームユース	1,871	2,318	**2,530**	+211	+9.1%
ビジネスユース	441	235	**570**	+334	2.4倍
不動産	6	59	**100**	+40	+68.9%
その他	-	▲7	**▲20**	▲12	▲2.8倍
調整	▲759	▲953	**▲1,160**	▲206	▲21.6%
経常利益	1,543	1,604	**1,960**	+355	+22.2%
当期純利益	1,019	1,073	**1,300**	+226	+21.1%

©Fibergate Inc. all rights reserved.

2023/6期連結決算見通し② 増減益分析

- 前期比3.6億円の経常増益見通し。牽引車は注力するビジネスユース事業となる見通し
- ビジネスユース事業では、ホテル/病院・介護/BCP対応など一定以上の滞在時間がある施設への需要掘り起こしに注力。既築物件を焦点に当てたホームユース事業初期の「勝ちパターン」をビジネスユース事業にも導入
- 一方、本社費用他は人件費や開発費などを主因にコストアップ継続。コストコントロールに揺らぎはないが、減益要因として影響を想定

2022/6期
経常利益
16.0億円

+3.6億円

2023/6期
経常利益想定
19.6億円

ホームユース事業 + 2.1億円
ストック収益積上げ/ホームIoT関連売上増

ビジネスユース事業 + 3.3億円
ホテル/病院・介護/BCP対応などの需要掘り起こし
一定以上の滞在時間がある施設への積極営業

不動産事業 + 0.4億円

本社費用他 ▲ 2.2億円
コストコントロールは進捗
一方で、人員増や販売手数料、開発費用増が影響

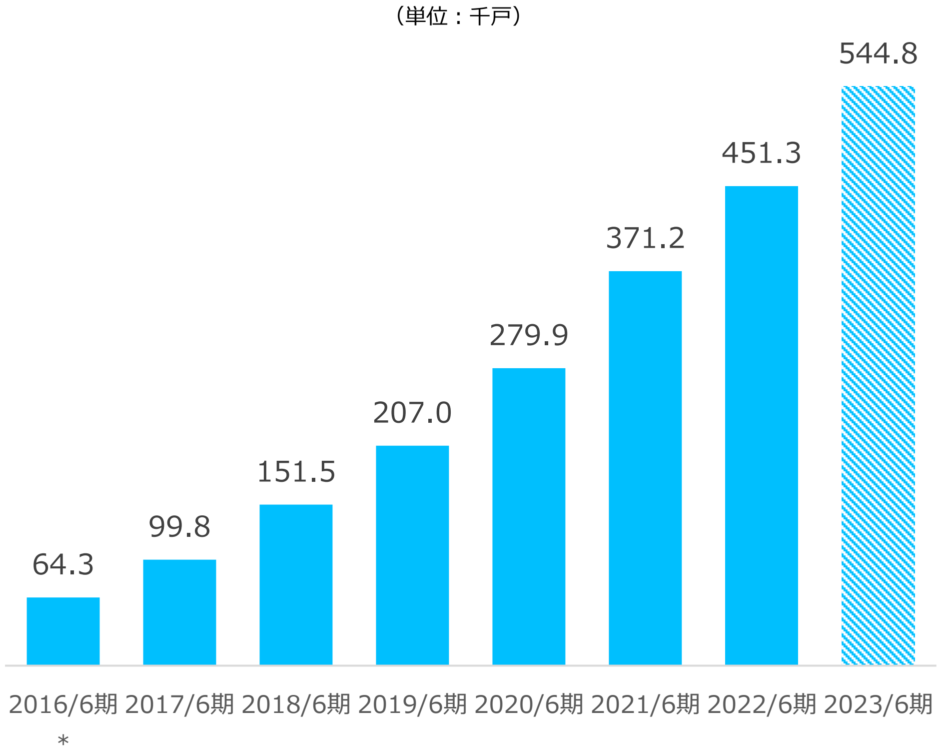
©Fibergate Inc. all rights reserved.

2023/6期連結決算見通し③　主要前提条件

Fibergate Inc.
株式会社ファイバーゲート

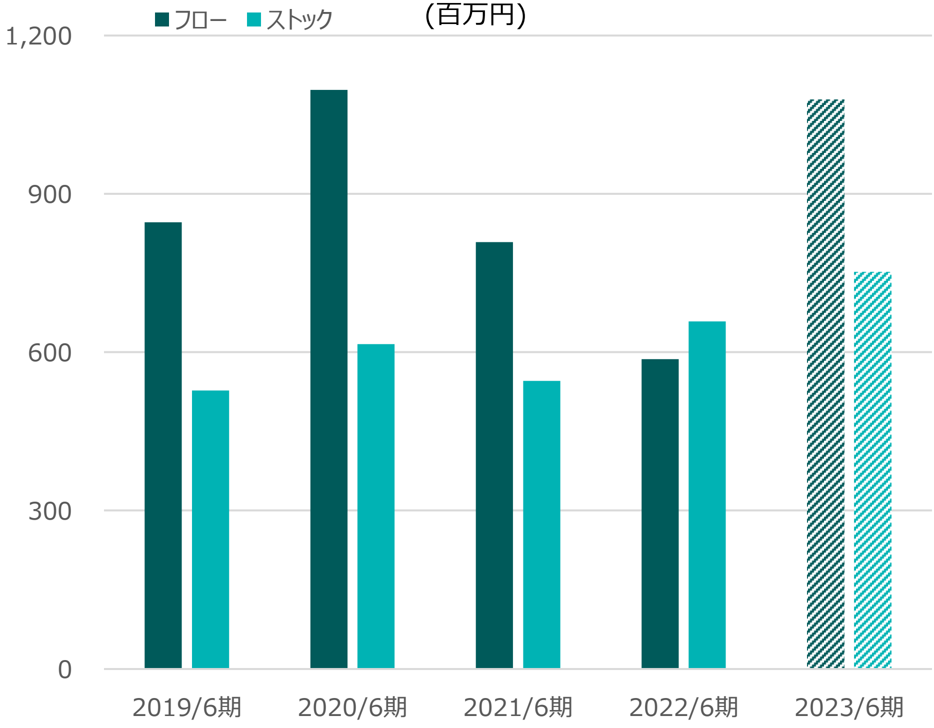
- レジデンスWi-Fi累積契約戸数の前提は前年比9万戸超の増加となる54.5万戸と設定。既築物件需要の一巡化懸念はあるものの、新築物件の時間差解消や高付加価値化推進により、契約戸数増加ピッチを維持
- ビジネスユースでは注力を開始していた3領域にとどまらず、先行指標となるフロー売上の幅広い獲得を加速。フロー売上を前年比1.8倍に引上げ、ストック売上基盤の強化を推進

レジデンスWi-Fi契約戸数



＊ 2016/6期は６ヵ月決算

フロー/ストック別ビジネスユース売上高推移

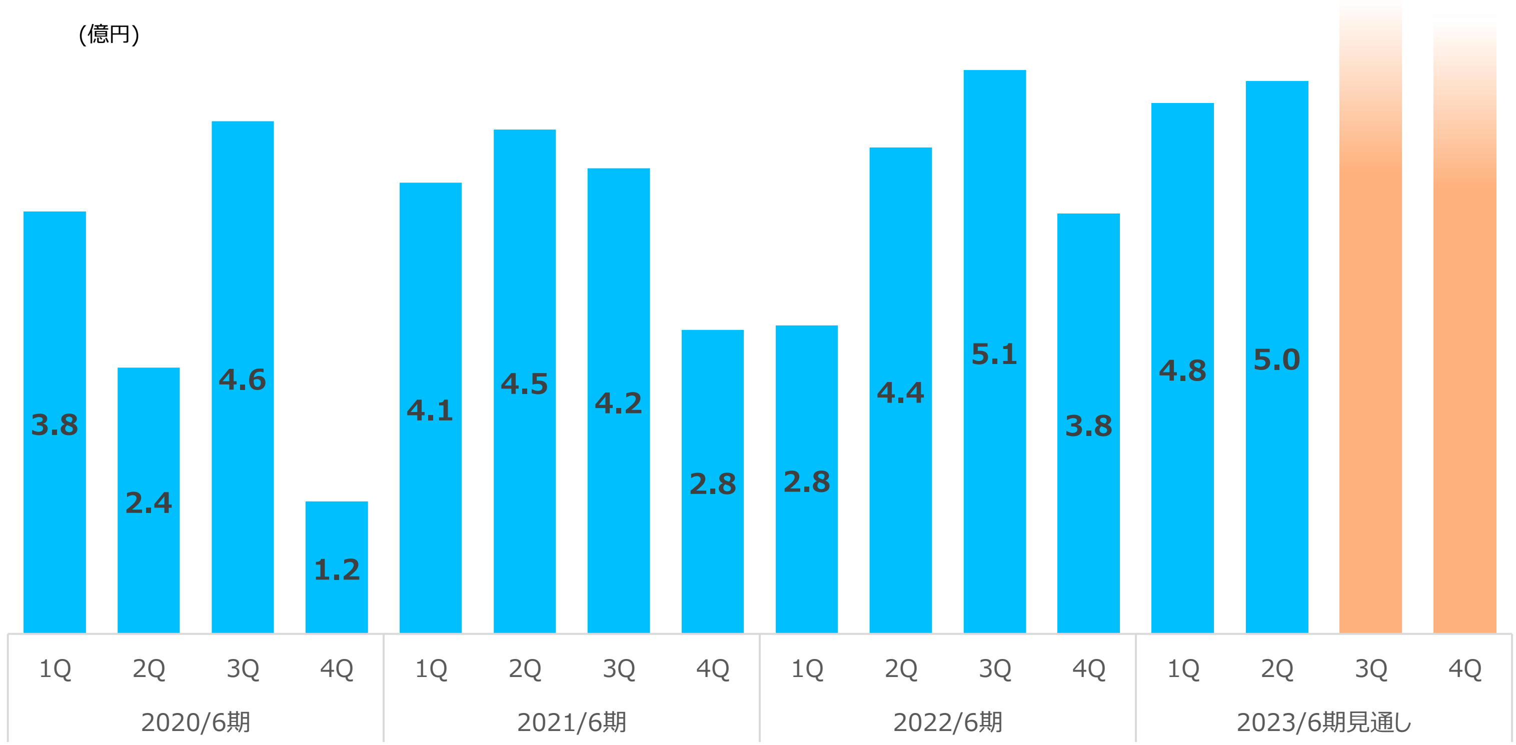


©Fibergate Inc. all rights reserved.

2023/6期連結決算見通し③　四半期別イメージ

- 四半期別に見ると、かつてに比べて季節要因による業績変動がかなり縮小。ストックビジネス基盤が堅固となるにしたがい、巡航速度での業績拡大を実現
- 2023/6期も経常利益は下期に一段の拡大を想定。今後はこの巡航速度を加速させる施策を中計で策定

四半期別経常利益の推移イメージ



©Fibergate Inc. all rights reserved.

Fibergate Inc.
株式会社ファイバーゲート

トピックス

©Fibergate Inc. all rights reserved.

トピックス

Fibergate Inc.
株式会社ファイバーゲート

1 ビジネスユース：タクシーWi-Fi事例

2 ビジネスユース：脱炭素型電動ロボットの衛星通信Wi-Fi

3 ビジネスユース：介護施設Wi-Fi事例

4 Home IoT：西松建設との鍵管理システム開発

5 Home IoT：FGスマートコールの販売開始

©Fibergate Inc. all rights reserved.

ビジネスユース：タクシーWi-Fi導入事例

日本交通横浜　小田原営業所様
小田原・箱根エリアの観光におけるMaaSプロジェクト開始

＜導入概要＞

導入先：日本交通株式会社の子会社
　　　　日本交通横浜株式会社小田原営業所
対象：リムジンタクシー車輌
導入機器：Wi-Fi機器（FGN1300W）

＜導入経緯＞

・従来はポケットWi-Fi使用も、機能不足で廃止
・山岳部や臨海部には携帯電話不通域が存在
・Wi-Fiを再導入には設置利便性を追求

導入効果

- 山岳部や臨海部でもWi-Fi接続を可能に
- 簡単設置・簡易認証により、営業所従業員・乗客ともに作業および利用負担が軽減
- 認証画面（カスタムUI）で観光PRを展開

©Fibergate Inc. all rights reserved.

ビジネスユース：脱炭素型電動ロボットの衛星通信Wi-Fi

Fibergate Inc.
株式会社ファイバーゲート

スマート林業の実現に向けた電動四足歩行ロボットの実証実験を実施

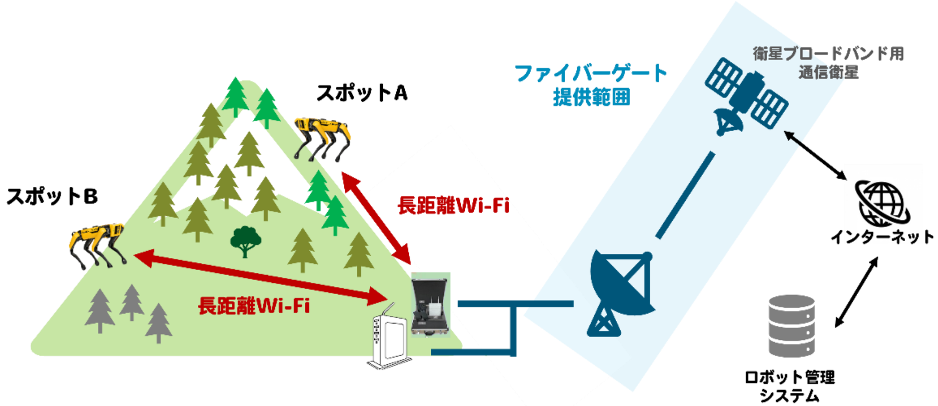
＜導入概要＞

設置場所：北海道上川郡下川町 下川実験場
　　　　　茨城県つくば市 つくば実験場
提供期間：2022年10月中旬～2022年12月末
設置機器：衛星通信Wi-Fi一式
　　　　（衛星アンテナ・モデム・収容 BOX）
用途：電動四足歩行ロボットと管理システムの連携
　　　を行うためのネットワーク構築

衛星通信Wi-Fiの特徴

- 山岳部や臨海部など通常のインターネット回線が敷設できないエリアへ対応
- 企業、地方自治体庁舎や広域避難所、病院/介護施設などのフリーWi-Fiサービスと連携

▶ 平常時：光回線によるフリーWi-Fiスポット
災害発生時： BCP 対策Wi-Fi
として活用を想定



©Fibergate Inc. all rights reserved.

ビジネスユース：介護施設Wi-Fi事例

Wi-Fi設備を利用した介護業務効率化を実現
～「特別養護老人ホームノテ中の島」の全館にWi-Fi導入実施～

＜導入概要＞
名称：特別養護老人ホームノテ中の島
住所：〒062-0922 北海道札幌市豊平区中の島二条5丁目
開業：2023年3月末開業予定
規模：入所100床（地上7階建て）＋看護小規模多機能事務所等併設
運営会社：社会福祉法人ノテ福祉会
導入機器：居室内設置（壁埋込み型AP）120台　※各部屋に1台ずつ設置
共用部設置（FGN1300W）26台

導入のポイント

- 厚生労働省推進によるペーパーレス化など「IT・ICT」技術による業務改善に対応

＜ Wi-Fi導入による介護業務効率化＞
- 見守りセンサー活用で夜間見守人員効率化

＜Wi-Fi導入による入居者満足度向上＞
- 居室内でご家族とのテレビ電話を実現

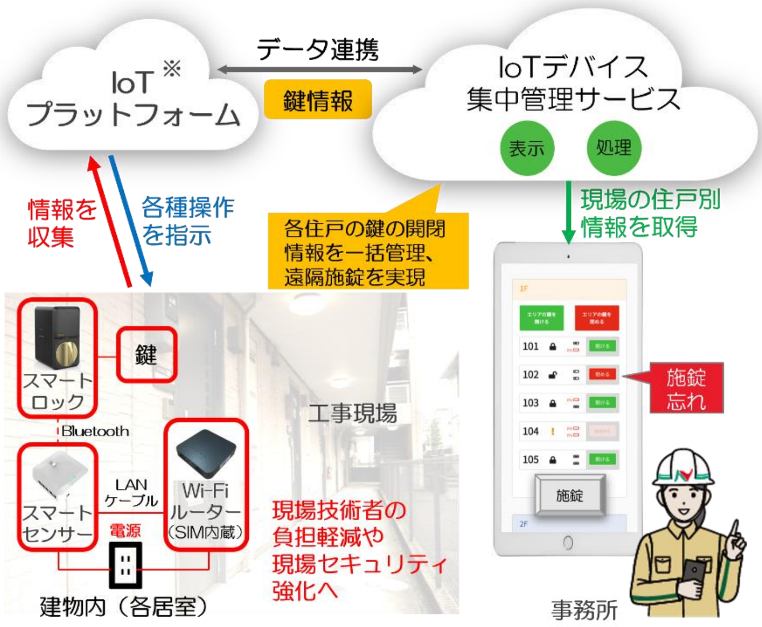
©Fibergate Inc. all rights reserved.

Home IoT：鍵管理システムを西松建設と開発

Fibergate Inc.
株式会社ファイバーゲート

鍵管理システムの開発による現場作業の効率化を推進
～現場における鍵の開閉情報の可視化、解錠・施錠操作を省力化～

- 西松建設株式会社と共同で、建設工事現場（主として共同住宅）における鍵管理システムを開発
  各住戸の玄関扉にスマートロックを取り付けることにより、
  ①専用アプリケーションで鍵の開閉情報を可視化し、②鍵の解錠・施錠の遠隔操作を実現
- 現場技術者は携帯端末から各住戸の鍵の開閉情報の確認・遠隔操作により、管理業務も省力化



※IoTプラットフォームは株式会社ファイバーゲートのIoT用クラウドサーバーを指します

©Fibergate Inc. all rights reserved.

Home IoT： FGスマートコールの販売開始

Fibergate Inc.
株式会社ファイバーゲート

「FGスマートコール」2023年3月よりサービス提供開始
～賃貸市場のインターホン革命！新しいIoTサービスで安心な生活～

- 2022年5月より、IoTプラットフォーム(専用アプリ)を提供する株式会社テンフィートライトと共同実証実験開始
- テスト物件を通し、アプリ追加実装開発、雨天・荒天時対応「自立式スタンドタイプ」と「壁面埋込みタイプ」の筐体設計などを実施
- 2023年3月より、「FGスマートコール」のサービス提供を開始予定

初回来訪時に
顔認証登録
を行います。

一度登録した来訪者は、
インターホン前に立った
瞬間に顔認証します。

訪問者ごとに
入居者自身で対応をカスタマイズ

集合玄関にインターネット対応の顔認証インターホンを設置し、
入居者は専用アプリを通じてどこでもインターホン応答ができる環境を構築

インターホンが自動で対応

©Fibergate Inc. all rights reserved.

Fibergate Inc.
株式会社ファイバーゲート

Appendix

©Fibergate Inc. all rights reserved.

Fibergate Inc.
株式会社ファイバーゲート

通信機器の開発・製造から電気通信サービスまで、一貫して手がける（通信系キャリア以外の）独立系Wi-Fiソリューション企業*

***独立系公衆無線LAN 事業者**

公衆無線LAN(Wi-Fi)アクセスサービス分野で、総務省（総合通信基盤局事業政策課）管轄業者かつ提供区域が全国の業者は、現在15社で、当社は大手キャリアと肩を並べる存在

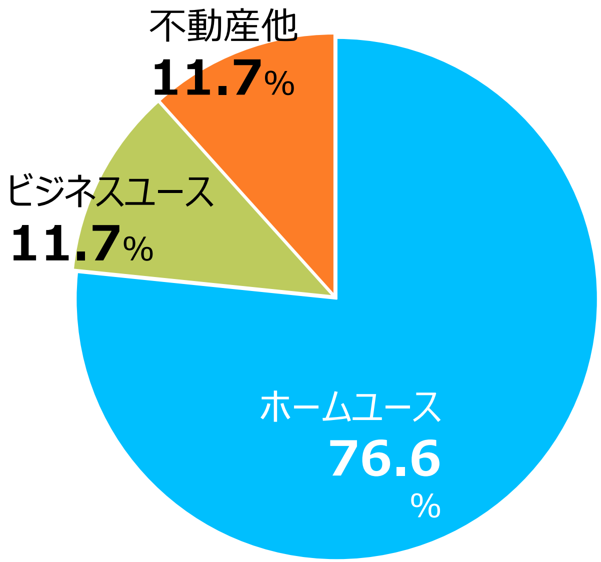
©Fibergate Inc. all rights reserved.

主要事業概要

- 2つの通信関連事業と不動産事業の計3事業を展開。主力はレジデンスWi-Fiで、直近期の売上構成は76.6%
- 高採算の「顧客PB化支援」（当社は黒子として貢献）に注力

売上構成内訳

2022/6期実績



<主力の通信事業>

ホームユース事業

FGBB

・マンション・アパート向け全戸一括
　インターネット接続サービスの提供

・顧客は集合住宅オーナー

ビジネスユース事業

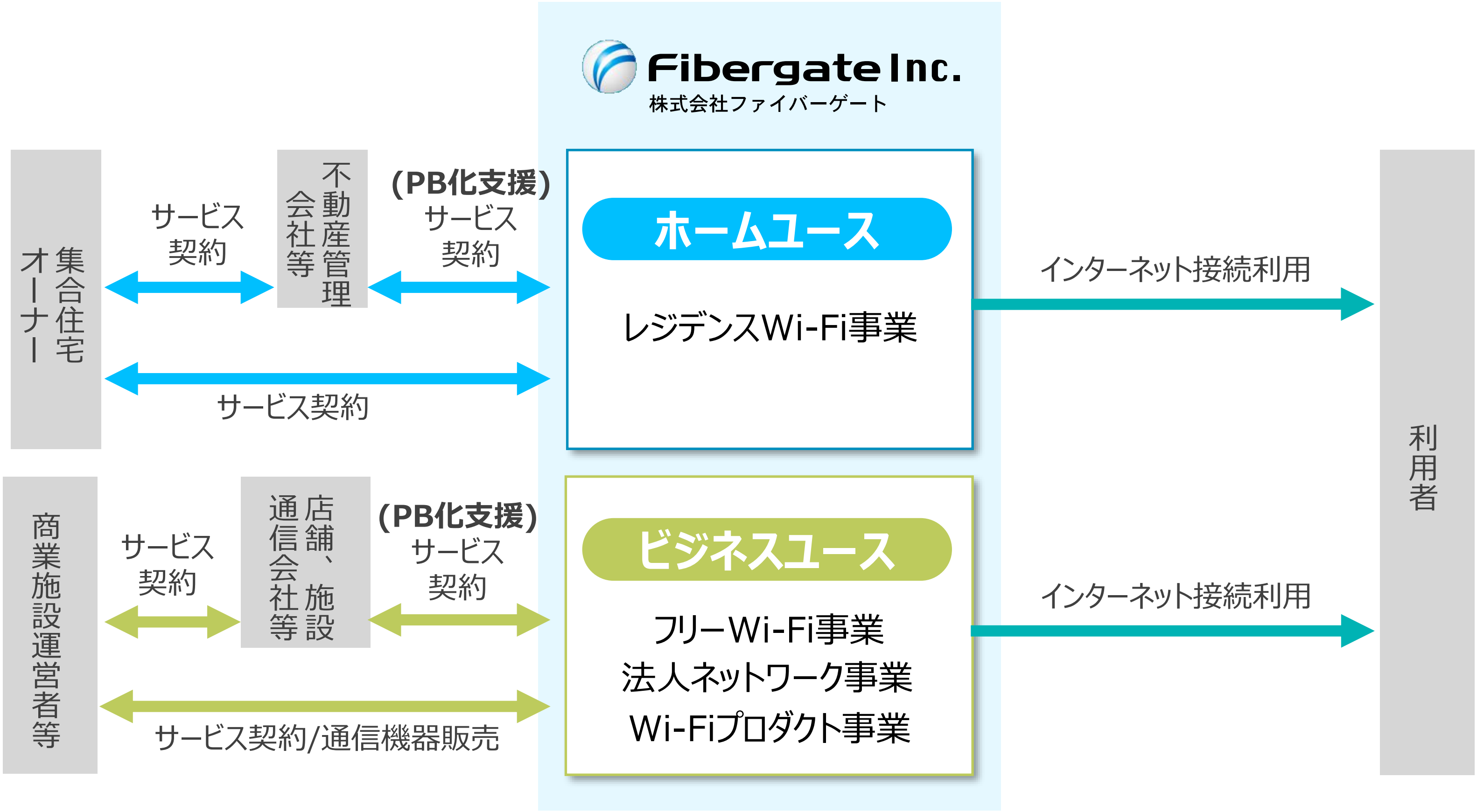
Wi-Fi Nex　SHINOBI FREE Wi-Fi　Wi-Fi BUS
OneTouch Wi-Fi

・フリーWi-Fi事業(観光地、商業施設向け)
・法人ネットワーク事業
　(インターネットプロバイダサービスなど)
・Wi-Fiプロダクト事業
　(通信機器の製造販売)
・顧客は観光自治体、商業施設などの
　ロケーションオーナー

©Fibergate Inc. all rights reserved.

通信事業ビジネスフロー

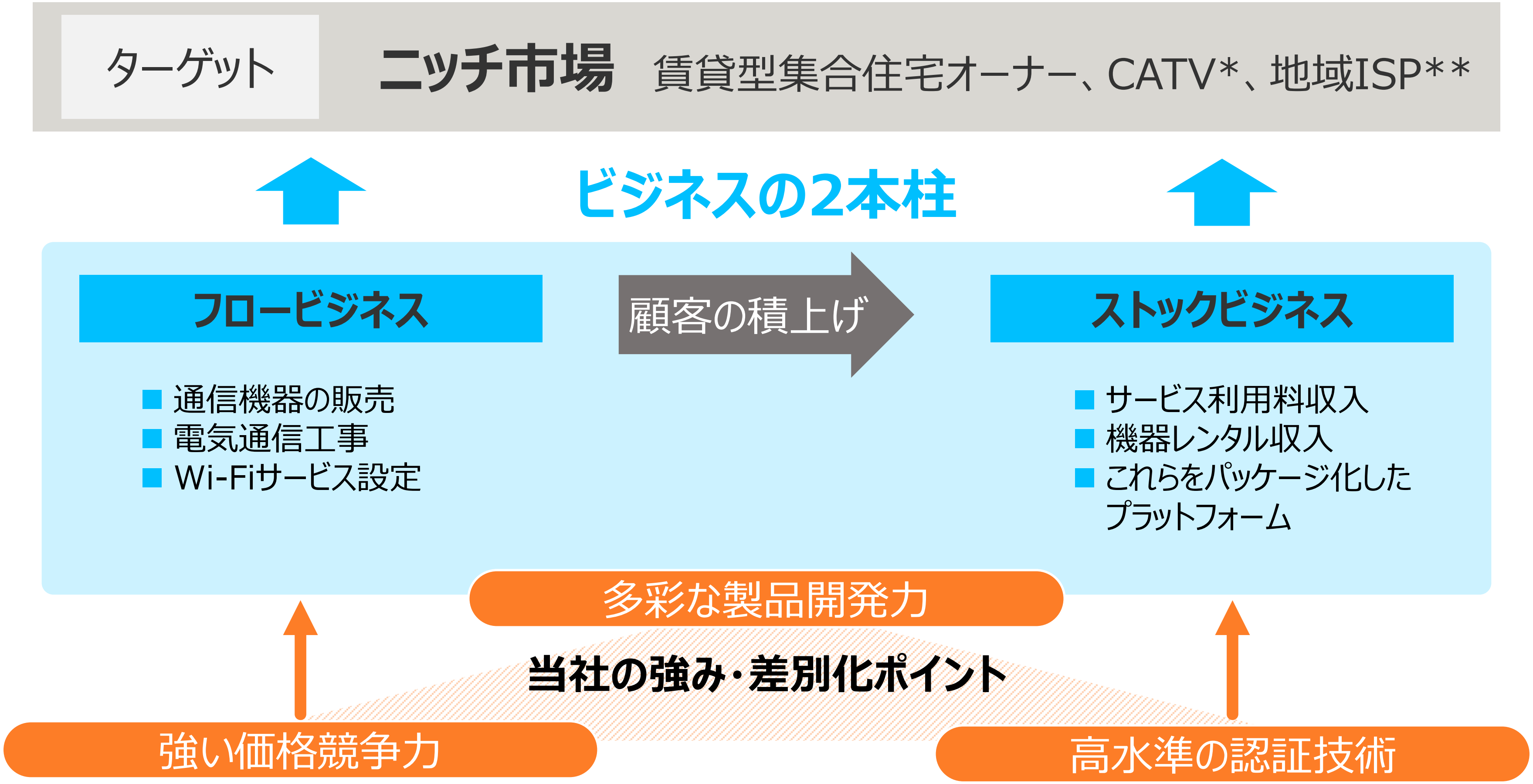
- 金銭報酬はサービス契約先より受領。インターネット接続利用者の金銭負担はなし
- 「顧客のPB化支援」が主力



©Fibergate Inc. all rights reserved.

ビジネスモデル

- ニッチ市場に向けて、フローとストックの２本柱を用意
- 当社の差別化ポイントは、「製品開発力」、「価格競争力」、「認証技術」の3点



*CATV：Cable Television。光ケーブルなどを用いてテレビ放送やインターネット接続、電話などのサービスを提供する企業
**ISP：Internet Service Provider。インターネット接続の電気通信役務を提供する電気通信事業者

©Fibergate Inc. all rights reserved.

中期ビジョン

“すべての施設にWi-Fiを”

Alternative Career構想実現へ、端末領域を強化拡充

Forward to “Alternative Carrier“

～全ての通信のゲートウエイを目指して～

©Fibergate Inc. all rights reserved.

沿革

年	内容
2000	➢ 国内、国際電話サービスの加入取次を目的に仙台市若林区に会社設立
2003	➢ 札幌市中央区に本社移転 ➢ 複数拠点企業のネットワーク構築、Webでのブロードバンド回線販売を主業とする
2004	➢ レジデンスWi-Fi事業を開始
2005	➢ Wi-Fiによるブロードバンド化サービスを開始
2006	➢ PB化支援による集合住宅向けインターネット無料サービスを開始
2009	➢ フリーWi-Fiサービス事業を開始
2013	➢ コンピュータウェアの企画開発及びインターネット回線取次を担当する子会社NOISを設立
2014	➢ 当社開発通信機器の販売事業（Wi-Fiプロダクト事業）を開始 ➢ PB化支援による店舗・商業施設向けWi-Fiサービスを開始
2015	➢ 電気通信工事業認可（北海道知事許可）を取得 ➢ 台湾に100%子会社・飛博網通技股份有限公司を設立 ➢ 電気通信事業法に基づく電気通信事業の登録免許を取得
2018	➢ 東京証券取引所マザーズ市場に上場 ➢ 株式分割（1株→2株）実施
2019	➢ 東京証券取引所第一部に上場市場変更 ➢ 札幌証券取引所に上場 ➢ 株式分割（1株→2株）実施
2020	➢ プロダクト開発子会社FG-Lab設立
2021	➢ 不動産関連事業を行う子会社FGスマートアセットを設立 ➢ 再生可能エネルギー事業を行う子会社オフグリッドラボを設立
2022	➢ 不動産売買・保有を行うTMアセットの株式を取得

©Fibergate Inc. all rights reserved.

財務ハイライト

Fibergate Inc.
株式会社ファイバーゲート

決算年月		2018/6期	2019/6期	2020/6期	2021/6期	2022/6期
売上高	（百万円）	3,977	5,446	7,424	8,491	10,624
経常利益	（百万円）	510	886	1,215	1,543	1,604
当期純利益	（百万円）	312	550	722	1,019	1,073
資本金	（百万円）	401	426	479	488	494
発行済株式総数	（千株）	4,761	9,807	20,402	20,487	20,591
純資産額	（百万円）	1,380	1,981	2,710	3,677	3,279
総資産額	（百万円）	4,364	5,311	6,984	9,397	13,087
１株当たり純資産額	（円）	144.92	202.06	133.52	180.40	160.74
１株当たり当期純利益金額	（円）	81.62	57.60	36.19	50.11	52.60
自己資本比率	（%）	31.62	37.30	38.80	39.13	25.06
自己資本利益率	（%）	34.82	32.77	30.81	31.92	30.86
営業活動によるキャッシュ・フロー	（百万円）	808	1,345	1,732	1,710	2,295
投資活動によるキャッシュ・フロー	（百万円）	▲1,328	▲1,389	▲2,071	▲2,256	▲2,626
財務活動によるキャッシュ・フロー	（百万円）	868	▲15	699	1,326	436
現金及び現金同等物の期末残高	（百万円）	1,118	1,058	1,415	2,196	2,303
従業員数	（人）	141	159	180	221	231

©Fibergate Inc. all rights reserved.

Fibergate Inc.
株式会社ファイバーゲート

ご清聴ありがとうございました。

< 見通しに関する注意事項 >

当資料に記載されている内容は、いくつかの前提に基づいたものであり、将来の計画数値や施策の実現を確約したり保証したりするものではありません。

問い合わせ先
経営企画本部　IR担当
0120-772-322
fgir@fibergate.co.jp

©Fibergate Inc. all rights reserved.